

【参考】カエルキャラバンについて

世界に広がる“楽しく学ぶ”防災訓練



イザ! カエルキャラバン! MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

「イザ!カエルキャラバン!」は、ゲーム感覚で楽しみながら「消火」「救出」「救護」などを学べるワークショッププログラムと、美術家・藤浩志が考案したおもちゃの交換会「かえっこバザール」を組み込み合わせた防災イベントです。これまでなかなか防災訓練に参加しなかった若いファミリー層が積極的にプログラムに参加するようになりました。

2005年に神戸で震災10周年目の記念事業として立ち上がり、さまざまな企業や団体と協力し、全国各地で開催されています。今では海を渡って、アジアや中南米の国々でも開催され、世界に「イザ!カエルキャラバン!」の輪が広がっています。



イザ!カエルキャラバン!のしくみ

Start



①おもちゃをもってこよう!

いらなくなったおもちゃを「かえっこバンク」に持って行くと「カエルポイント」に換えることができます。



②すきなおもちゃをゲット!

「ショップ」に行くと、換えたポイント分のおもちゃと交換(かえっこ)することができます!

Point



③カエルポイントをためよう!

ポイントがなくなったり、おもちゃを持ってきていない子どもも「防災ワークショップ」を体験するとポイントがもらえる。

Goal



④オークションに参加しよう!

たまったポイントで、人気の高いおもちゃが並ぶ「オークション」に参加することができます。

〈防災ワークショップ事例〉



水消火器的あてゲーム

水消火器を使ってカエルの的をくるくる回し、カエルを振り返らせるゲームです。普段なかなか使えない消火器の使用手順を、ゲームの中で繰り返し使うことによって学ぶことができます。



対決!バケツリレー!

震災時には、たくさん火事が発生し、住民が協力してバケツリレーで火を消すことが多かったと言われています。ゴミ箱や鍋など、水をすくうことのできるものでバケツリレーのコツを学びます。



毛布で担架タイムトライアル

震災時、担架の数が追いつかず、毛布や畳など身の回りにあるものを担架代わりに用いました。毛布の両端をくるくる丸めて担架をつくり、重量のあるカエル人形を運びます。



ジャッキアップゲーム

地震で家が崩れ、ガレキの下敷きになってしまった人を救出する際、車のジャッキや油圧ジャッキが活用されました。意外と知られていないジャッキの使い方を楽しみながら学びます。



おたま劇場

震災のことや、非常時持ち出し品袋のこと、避難経路のことなど、伝えたいこと・学んでほしいことを、人形や紙芝居などを使って分かりやすく子どもたちに伝えるプログラムです。



防災体操

防災にちなんだ知恵や技を、体操の動きに盛り込みました。消火、人命救助など「イザ!」という時の知恵や技を、楽しい体操を通して学ぶことができます。



持ち出し品なあに?クイズ

災害時に役立つ防災グッズを覚えるクイズです。1分間で12品目の持ち出し品を覚え、答えるプログラムです。答え合わせで12品目の使い方や重要性を説明し、学んでもらいます。



紙食器をつくろう

食器がなくなっても、紙で食器がつくれることを学んでもらいます。新聞紙でコップやお皿を折った後、ビニール袋やラップをかぶせ、食器をつくるプログラムです。



家具転倒防止ワークショップ

ミニチュアを用いて、家具転倒防止グッズの使い方や効果を学んでもらいます。L型金具や突っ張り棒などを家具に取り付け、カエル人形が家具の下敷きにならないよう助け出すプログラムです。